

香曾我部義則先生の 今月のカルテ 25

慢性痛とペインクリニック

ペインとは痛みを意味し、クリニックとは診療所を意味します。つまりペインクリニックは痛みのある病気を診療する診療科。主に神経ブロック法を利用して痛みを治療を行います。その治療法について、梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生が、分かりやすく説明してくれるこのコラム。第26回のカルテは、三叉(さんさ)神経痛についてです。

今回は唇・歯肉・ほ

お・あごなどに耐え難い痛み、発作が起こる三叉神経痛について説明しましょう。

三叉神経は顔面感覚を伝える神経で、図に示

すようにそれぞれ第1枝 神経(V1)、第3枝で、ある下顎神経(V3)の呼ばれています。

顔を鋭く突き刺されるような痛みの「三叉神経痛」MRIを撮ることでほかの病気との区別が明確に

三叉神経痛の特徴は、1つあるいは2つ以上の分枝の支配神経領域における鋭く、突き刺されるような感覚の痛みです(電撃痛)。ほかにほり

ビリする、チクチクする痛みも生じます。痛みの

部位(トリカーボイント)の量を上手に調節する必要がある。上唇や鼻の周囲に存在します。物をかむ、また重症な肝障害や中

歯を磨く、風が当たるなどで痛み、発作が誘発されることがあります。部位では第2、3枝が一番多く第1枝のみ

の痛みは5%以下です。若い方の発症は珍しくほとんどが中年以降に発症します。原因の多くは

蛇行した血管によって三叉神経が圧迫を受けるため。MRIを撮ることで、ほかの顔面の神経痛や歯

や副鼻腔、あごなどから生じる病気との区別が可能です。造影を用いる撮影で圧迫している血管を突

き止めることもできるようになりました。治療ではカルバマセピ

ン(テクトール)という内服薬が特効薬で、約7割の患者さんに有効です。目まい、眠気、複視

消化不良などの副作用がしばしば起こるので、薬



■プロフィール こうそがべ・よしのり
昭和54年3月岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・救急科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長を経て平成16年4月1日から現職。日本麻酔学会専門医、日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属

持続時間は数秒で、1分以上持続することはまずありません。痛みは激烈で発作は昼

夜を問わず、また数週間

にわたって頻繁に繰り返すこともありま